

## 平成 27 年度 第 4 回熊本市公共交通協議会 議事録

### I 日時等

1. 日 時：平成 27 年 12 月 18 日（金）午前 10 時から 11 時 30 分まで
2. 場 所：熊本市役所議会棟 2 階 予算決算委員会室
3. 事務局：熊本市 都市建設局 交通政策総室

### II 主な内容

#### 1. 開会

#### 2. 会長挨拶

#### 3. 議事及び報告等

##### (1) 各専門部会での協議内容報告

##### (2) 熊本地域公共交通網形成計画（案）について

- ・事務局が資料 1「前回協議会の主な意見及び対応（案）」、資料 2「各専門部会の主な意見及び対応（案）」、資料 3「熊本地域公共交通網形成計画（案）」を一括して説明。
- ・その後質疑応答

##### (会長)

- ・ただいま説明があったように、これまで委員からいただいた意見は資料 1 及び資料 2 に整理され、概ね対応できていると思う。
- ・特に第 6 章の数値目標については、人口密度から公共交通に関する指標ということで公共交通の人口カバー率へ再設定がなされ、また、第 8 章において立地適正化計画や上位計画との整合の観点から、本計画では前期・後期の期間設定はあるものの、4 年目、8 年目の節目で PDCA サイクルにより検討を行う方向も示しているところである。
- ・この計画は、あくまで全体の計画であるので、今後の事業の実施にあたっては更に細かい課題も多いと思うし、それを計画に書き込めない部分もあるかと思うが、今後の方向性を含めたご提案などご意見があればお伺いしたい。

##### (委員)

- ・内容は非常に固まってきて良いと思うが、これを具体的に実践していく中でどうしてもお金の問題が出てくると思う。
- ・地方自治体や事業者の負担もあるが、最大限活用したいのは国庫補助であり、第 7 章に記載はあるが国庫補助活用の段取りがよく見えないので、自治体や事

業者が国庫補助活用の際に行う内容など、今後の課題の中に申請書の提出など手続き的なもの書いた方が事業の内容も見えてくるのではないかと。

- ・せっかくの案もお金がなくてできないということが一番いけないので、内部で議論はされていると思うが国庫補助の提案についてどこかに記載した方がよい。

#### (事務局)

- ・計画案では、第7章で国庫補助の件については触れているが、あくまでもゾーンシステム導入時における国庫補助の課題について記載しているもの。
- ・事業全体を進めていくうえで国庫補助の活用について触れた方がよいとのたまたまの委員ご指摘を踏まえて、今後実施計画を策定していくうえでのマスタープランとなる本計画の策定メリット等について追記させていただきたい。

#### (委員)

- ・前回部会に出した意見についてはかなりの部分が計画に反映されており有難く思うが、第6章の数値目標1について、前回の居住誘導区域の人口密度から公共交通の人口カバー率へと大きく修正されており、こちらの指標の方がよいと思うが、そうであれば前段の第4章などの現状の部分にも整理しないと数値目標で唐突感があるので対応をお願いしたい。
- ・また、数値目標2「公共交通の年間利用者数」について、前は確か基準値に対して維持との設定だったと思うが、今回は人口の自然減を考慮した低減値の設定となっている。理屈は分かるが、目標値として減っていく数値を掲げることには少し違和感がある。
- ・数値目標2と数値目標3「目的地に行くときに公共交通機関を利用する市民の割合」は利用者を増やすという意味では同じ指標であると思うし、また我々も利用促進に向けた議論を行ってきたので、同じような指標で利用者を増やすという設定と低減値の設定が並ぶことには疑問がある。
- ・それから、数値目標1は基準値がまだ分からないので判断ができないが、平成32年度・平成37年度の目標値設定が基準値と同値となっていることについては、カバー率についても同値ではなく、少しでも前進させていくという設定がよいと思うが如何か。

#### (事務局)

- ・この3つの数値目標は内部でも一番議論を重ねたところでもあり、まず、数値目標1の基準値については現在コンサルで算出作業を行っているところだが、立地適正化計画の居住誘導区域設定の考え方であるバス停から300mでは現在約8割といった数値になっており、本計画では条例との整合もあり500mで設定したいと考えている。

- ・300mで約8割ということで、500mの基準値としては9割を超えてくる数値になるものと思うが、設定の考え方としては、やはり公共交通で移動し易いまちづくりを進めることが重要であり、まちづくりと連動していくという考えのもと、コミュニティ交通を含んだ形での公共交通カバー率という数値目標の設定と維持という目標値の設定をしているもの。
- ・次に、数値目標2については、都市圏全体を見渡した指標ということで、公共交通の年間利用者数が都市圏の利用者数であるとの観点から設定させていただいているところであり、目標値の設定についても、通勤通学の生産年齢人口が確実に減っていく中で、あくまでも現在の利用者数を維持していくという考え方のもとで、低減の設定を行っているもの。
- ・また、数値目標3については、行政・事業者の連携のもと、公共交通への利用転換、意識の転換、或いはモビリティマネジメントなど利用促進を図り、お買物や通院など様々な目的地への移動で公共交通を利用する市民の割合を増やしていくということで、増加という設定をさせていただいているもの。

(委員)

- ・今の説明でよく分かったが、説明を聞いたうえで先程も申し上げたが、数値目標2と数値目標3は利用者を増やしていくという意味では同じだし、やはり減っていくという目標値の設定には抵抗を感じるので、唐突だが年間利用者数の数値目標は止めて、例えば、公共交通の利便性が高まったと感じる市民の割合などの方が公共交通のあり方が良くなったのか、悪くなったのかを表す指標として前向きな指標になると思うので、これは意見として申し上げておきたい。
- ・それと、これは細かい点だが、作成していただいた事業別シートの一覧表の前期・後期の部分には、それぞれの期間を記載していただくともっと分かり易くなると思うので対応をお願いしたい。

(会長)

- ・まず、一覧表の前期後期の件について事務局は如何か。

(事務局)

- ・10年間の計画であり、前期後期のそれぞれの期間を記載したい。

(会長)

- ・数値目標のご意見については、プログラムが変わってくる話であり、指標の管理も含めた制度設計で考えると、このような現実的な指標も必要ということでご理解いただき、今後の実施計画策定等に向けての配慮ということにしておきたい。他にご意見はないか。

(委員)

- ・この計画自体は非常によく纏められていると思う。しかしながら、それは机上の論理であって、これからどう進んでいくのかがよく見えない側面もあるので、この計画には記載できなくても、専門の交通事業者の方々もいらっしゃるが、どうすれば課題が解決できるのか専門的な方々の意見も載せられればという思いでいる。
- ・公共交通の利用者数がこの40年で約3割にまで落ち込んでいるが、せめてこれを5割にまで戻すといった目標を持って努力すべきだと思うし、実際、利用者の意向でも公共交通サービスが向上すると公共交通機関へ転換するという方が約4割とのデータも計画に記載されており、努力をすればある程度回復する可能性があるのではないかと思う。
- ・そのためには、ここに記載はないが規制などといったことも出さないとなかなか難しいと思う。事業別シートの中にも様々な手法が示されており、その中でもバス専用レーンやパークアンドライドの考え方など、もっと工夫すれば利用者増に直結するようなヒントもあるのではないか。
- ・外国でもサンフランシスコ金門橋の通行規制や北京のナンバー規制があるが、そういった規制を導入すれば、公共交通機関に替えたい人達のニーズにも合ってくると思うし、規制とサービスが一致することが重要であり、そこからいろいろな手法にも繋がっていくのではないか。
- ・また、専用レーンの実車タクシーの通行可なども個人的には必要だと思うし、素晴らしい案が出来つつあるがそれだけでは課題の解決は難しいと考えるので、交通事業者の真摯な問題提起というものも載せると少しでも解決に繋がると思う。計画を一步でも二歩でも前進させるためには、その点が必要になってくると思うので議論いただきたい。

(会長)

- ・事業別シートはある程度できる内容のものを記載しており、絵に描いた餅ではなく具体的にという整理である。
- ・ただ、将来的には規制といったことも議論していく必要があり、計画への記載をどうするかといったご提案だと思う。実は以前も交通事業者の委員から現状の都市部においてはマイカー規制をしないと交通網の整備ができないといった発言もあっており、この課題については熊本県・熊本県警を含めこれまでも課題として整理されているものと思う。
- ・大筋の話で構わないので、この件について、事務局の考えを伺いたい。

(事務局)

- ・規制に関しては、先程委員からご紹介があったような様々な規制があることを

把握したうえで、今回の計画を描かせていただいているところ。

- これまでもグランドデザイン、基本条例と施策を展開してきた中で、基幹公共交通軸の機能強化が最大のテーマでもあるので、この計画においてもその考え方を示しており、計画の期間である 10 年間で多様な協議を行った結果、新たな方策が見出せれば計画に追記して実施計画に繋げていくことは基本的な考えとしては当然のことだと考えている。
- ただ、まずは何よりも公共交通が環境やまちの活性化へ果たす役割を市民等に広く周知し、諸外国の先進事例を含めて取り組み易い環境づくりや利用促進を進めていくことが重要だと考えており、そのような環境づくりに取り組んだうえでの次のステップだと考えている。
- 特に、規制に関しては交通管理者・道路管理者等の関係者ときちんと議論をしたうえでないと難しいという課題を踏まえたうえで今回の計画を作成しており、事務局としては、計画に記載している事業の着実な進捗に取り組んでいきたい。

#### (委員)

- 数値目標について、数値目標 3 の設定というのは市民にも分かり易くて非常に良いと思うが、増加割合については設定自体を含め検討中と記載しており、増加割合値の設定については、例えば、熊本より公共交通機関を利用する先進地の割合の近似値を設定するなど、分かり易い増加割合の設定とどうしてそのような設定を行ったのかを記載いただければと思う。
- また、数値目標 1 については先程の説明を聞くと現状でもかなり高い数値になると思うので、このカバー率の設定自体が必要なのかとを感じるし、記載のような 3 段階設定（基準値・H32 目標値・H37 目標値）をしなくても文章等で現状を記載するだけで十分ではないかと思う。
- 公共交通の年間利用者数についても、同様の考え方で推計値が将来こうなりますと記載すれば十分であり、3 段階設定は数値目標 3 だけでよいのではないか。

#### (事務局)

- 3 つの数値目標については、まちづくりとの連動や利用促進の観点、特に公共交通の年間利用者数については現状をしっかりと受け止め、PDCA サイクルで計画の進捗管理を行っていく必要があることから設定させていただきたいと考えている。
- また、目標値の設定についても今後行うアンケート調査等の設問でも工夫を行う予定であることから、先程の別の委員の意見も踏まえて、設定理由等の記載内容や目標値の設定については推敲と検討を行いたい。
- 人口カバー率については委員ご指摘のとおり、高い数値になることが予見されるが、国の策定方針や基本条例との整合を図る観点から、まちづくりとの連動についての数値をきちんと押さえていく必要があると考えており、この点につ

いてはご理解いただきたい。

- ・また、数値目標3の目標値設定については、事務局としても増加割合値の設定を行うということになれば、何故そのような設定を行ったかについては記載する必要があると考えており、そのような記載を行いたい。

(副会長)

- ・数値目標について、前回の協議会でも議論になったが、数値目標は確かに重要なものだが他にも達成評価にあたっては重要な要素もあると思うので、前段での留意事項というかたちで、数値目標の達成が全てではないといった内容を一段落程度で記載してはどうか。

(事務局)

- ・大変有難いご意見だが、数値目標を設定する部分の前段で記載するということは策定主体の立場としては少し抵抗があると考えており、計画の進捗管理の第8章で定量的・定性的に評価するという表現で、数値目標だけで達成状況を評価するわけではない趣旨を既に記載して、対応させていただいているところ。

(会長)

- ・既に第8章で定量的・定性的という表現で記載はされているが、ただいまのご意見を踏まえて、その趣旨を少し具体的に記載するとよいのではと思うので対応願いたい。

(副会長)

- ・数値目標の表現については工夫いただければと思う。
- ・また、コミュニティ交通についても近隣自治体との連携が重要だと思うので、施策展開の基本的な考え方のコミュニティ交通の導入の所要部分に近隣自治体との連携について追記してもらいたい。

(事務局)

- ・ご指摘のとおり修正したい。

(3) 協議会スケジュール等について

- ・事務局が資料3「協議会スケジュール」を説明
- ・その後質疑応答

(委員)

- ・住民説明会の日程は分かったが、パブリックコメントの日程はどうか、ある程

度日程は決まっているのか。

(事務局)

- ・先程は説明申し上げなかったが、パブリックコメントについては資料に記載のとおり、1月29日から2月29日までを予定している。

(会長)

- ・以上で本日の議題は全て終了となるが、冒頭申し上げたとおり、本日の協議会をもって計画素案についてはご了承いただいものとしたいがよろしいか。
- ・また、本日のご意見に対する修正については、今後事務局の方で精査すると思うが、今後の修正については本日の議論も踏まえて、会長に一任ということで諮らせていただきたいがそれでよろしいか。

(全委員)

- ・(異議なし)

(会長)

- ・それでは、以上をもって本日の協議会を終了したい。皆様どうもありがとうございました。